

現地視察会 (H25.9.30) の概要と 最終答申への参考事項

— 資料3 —

これまでの現地視察会

平成24年10月1日

- (1) 下水道再構築工事現場
- (2) 芝浦水再生センター
- (3) 首都高速6号向島線駒形付近
- (4) 江戸川水門
- (5) 大井食品埠頭(船上からの視察)

平成25年3月27日

- (1) 菊神橋・菊神2号橋(島田市管理)
- (2) 浅川橋(島田市管理)
- (3) 新橋(島田市管理)、中央橋(静岡県管理)
- (4) 牧ヶ谷橋(静岡市管理)
- (5) 安倍川橋(静岡市管理)
- (6) 静岡県知事との面談
- (7) 国道1号丸子藁科トンネル(国土交通省管理)
- (8) 安倍川慈悲尾樋管(国土交通省管理)
- (9) 国道1号駿河大橋(国土交通省管理)

現地視察会の概要と最終答申への参考事項

現地視察会の目的

■ 先進的な技術ノウハウ、人材育成の取組について

これまで、国や東京都、首都高速道路株式会社が管理する施設の維持管理の状況等や、県や市町村が管理する施設に着眼を置いた、維持管理において地方が抱える課題等について把握するため現地視察し、本年5月の中間答申の整理にも成果を活用したところ。我が国で最も古い地下鉄路線を有する東京地下鉄(株)では、限られた現場条件の中で維持管理の実務にあたっており、技術的なノウハウを蓄積している。そのため、点検や技術導入、人材育成の取組などについて現地視察を通して把握し、今後の小委員会における議論の参考とするもの。

1. 視察日

平成25年9月30日(月)

2. 出席委員

家田委員長
秋山委員、井出委員
黒川委員、小林委員
福岡委員、山田委員

3. 視察行程

維持管理の取組等の概要説明

モーターカー通過状況視察

特別全般検査視察

補修実施状況視察

現地視察会の様子



意見交換会



モーターカー通過状況



特別全般検査



補修実施状況

最終答申への参考事項

- 地下鉄会社では、埋設トンネルなど地下水や様々な変動要素が加わり、管理が難しい。施設データの蓄積、施設台帳の電子化を推進しており、今後、蓄積データを施設の劣化予測等に活用していくことが課題である。
- 総合研修センターを建設中であり、模擬トンネルなどを作成して実践的に社員が研修・教育を受けられる場、若手・ベテラン双方に対する社員教育を充実させる取組が推進されている。また、教育のプログラムメニューについて、ワーキングチームでメニューを検討し、新人社員に対する教育の充実などを図ろうとしている。